

# 市政全般にわたり16人の議員が質問

(要旨を掲載)

# 販質問

## 新オレンジプランに基づく本市の認知症施策について

安田 早苗 議員 《公明党》



本年1月27日、国家戦略として新オレンジプランが新たに策定され、認知症がようやく国を挙げての施策として位置づけられました。そこで、本市として新オレンジプランに基づく事業展開について、第6期介護保険事業計画(素案)に掲げられた認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員の取り組みについて、さらに認知症の疑いが認められた場合の次につながる支援策について伺います。

認知症は初期段階では気づきにくく認知症チェックや認知機能検査が有効です。以前に提案したスクリーニングテストの導入について伺います。

運動教室を変更し、ステップ運動などの有酸素運動と歌や計算などの脳活性の訓練を並行して取り入れた認知症予防教室の実施を考えています。

また、初期対応の遅れを防ぐために、認知症初期集中支援チームが一定期間集中して対象者と関わることで医療やサービスなど次の支援へつなげることが可能となり、保健師、看護師を認知症地域支援推進員に位置づけ、地域包括支援センターと連携し認知症本人と家族の支援を充実させることができます。スクリーニングテストの導入はできるだけ早期に行いたいと考えます。

小学生の体力づくりのために各地域で行われているラジオ体操は効率よく全身運動ができ、世代間交流が図れる利点もあります。しかし、平成26年度に行われた全国体力テストの結果では、神奈川県の児童・生徒は全国でも最下位レベルとなっています。

今年度、児童・生徒の体力づくり推進の手立てとしてラジオ体操への参加を呼びかけ、

教育長 県教育委員会は、

ラジオ体操カードを配付していきます。市教育委員会として

ラジオ体操への参加を奨励します。このカードを活用し地域

のラジオ体操カードを配付していきたいと考えています。

チヤレンジデーについては、

ラジオ体操を普及させる良い機会であると思っています。

先の一般質問で、ラジオ体操は効率よく全身運動ができ、

世代間交流が図れる利点もあります。しかし、平成26年度に行

われた全国体力テストの結果では、神奈川県の児童・生徒は全国でも最下位レベルとなっています。

しかし、平成26年度に行

われた全国体力テストの結果では、神奈川県の児童・生徒は全国でも最下位レベルとなっています。